

# ES/1 NEO

MFシリーズ

## V05L22R1

### Release News Letter

# 日立システム

## 目次

### 【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて  
PC製品 サポート終了のお知らせ

### 【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	… 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 2
MF-ADVISOR	… 3
MF-支援ライブラリー	… 7
MF-eASSIST	… 9

### 【PC】

リリースニュースレター機能一覧 プログラム別	… 12
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 13
Performance Navigator	… 14

 株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L22R1 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア(x:¥Rnl)内のレターをご参照ください。

# 改版履歴

---

日付	版数	内容
2024/2/1	1	V05L22R1 リリース

# ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより30ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



## <バージョン(バージョン・レベル・リビジョン)の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L21R3 の場合

**V 0 5 L 2 x R x**

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2024/4/30
VERSION/LEVEL/REVISION --- 05.22.01
```

## <今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L22R1	2024年2月	2026年8月31日
V05L21R3	2023年2月	2025年8月31日
V05L21R2	2022年2月	2025年8月31日
V05L21R1	2021年10月	2025年8月31日

## <通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

## <バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

# PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

## <サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® Server 2012	サポート終了時期：2024年10月末
Microsoft® Windows® Server 2012 R2	サポート終了時期：2024年10月末

## <サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013	サポート終了時期：2024年4月末
.NET Framework 4.5.2	

V05L22R1 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

## <オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® Server 2012 (2024年10月末まで)  
Microsoft® Windows® Server 2012 R2 (2024年10月末まで)  
Microsoft® Windows® 10  
Microsoft® Windows® Server 2016  
Microsoft® Windows® Server 2019  
Microsoft® Windows® Server 2022  
Microsoft® Windows® 11

## <アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013 (2024年4月末まで)  
Microsoft® Excel2016 / Word2016  
Microsoft® Excel2019 / Word2019  
Microsoft® Excel2021 / Word2021  
Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.6.2 以上

## ES/1 NEO MFシリーズ V05L22R1 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L22R1 と、以前のリビジョン (V05L21R3) との資源使用量比較一覧です。  
各項目の意味は以下の通りです。

CPU		以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体	以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ	以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L21R3 vs V05L22R1		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-ADVISOR	CPECNVRT	—	4	—
	CPEPRT00	—	0	—
	CMOSPRT0	—	0	—
	HIBICHKO	—	0	—
	CPEREGOO	—	0	—
	SMFPRT00	—	0	—
	CPEDSNOO	—	0	—
	RAIDPRT0	—	0	—
	RAIDCNFO	—	0	—
	SADPRT00	●	0	—
	XDMPRT00	—	0	—
VOLLSTHO	—	0	—	
MF-MAGIC	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXSAD00	—	0	—
MF-SCOPE	JOBANLST	—	0	—
	JOBMONTH	—	0	—
	JOBCTL10	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
MF-PREDICT	PNAVIADT	—	0	—
	PRDIOSOO	—	0	—
MF-AUDIT	CPEDSNOO	—	0	—
	CPEREGOO	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	DSNGSV00	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
	CPEDASDO	—	0	—
	CPEVOLGP	—	0	—
	CPETAPE9	—	0	—
MF-eASSIST	DSNGSV00	—	0	—
	TSSCSV00	—	0	—
	JOBDSNCV	—	0	—
	PNAVICEC	—	0	—
	PNAVISAD	●	0	—
	PNAVIXDM	—	0	—
	PNAVJOB0	—	0	—
PNAVJOB1	●	0	—	
PNAVIVSP	—	0	—	
PNAVIADT	—	0	—	

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所の色を付けて表示します。

例.	MF-ADVISOR	CPEPRT00	—	124	—
		CMOSPRT0	—	4	—

注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。  
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。

【OVER16機能 指定方法】 実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。  
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

//SHELL EXEC PGM=CPESHELL, REGION=(,1024M), PARM=PARM	<=追加・変更
//SYSPPRINT DD SYSOUT=*	
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*	
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 5))	
//CPEPARM DD *	<=追加
OVER16=SYMBOL	<=追加
OSTYPE=#OSTYPE	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」  
'3.3.2 OVER16機能' をご参照ください。

# 【HOST】機能一覧 プロセッサ別

## 既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-ADVISOR	CPECNVRT	拡張	1	SAR/Dサンブラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応					AP10000環境	3	522-102
	CPESHELL	拡張	2	SAR/Dサンブラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応					AP10000環境	4	522-103
	SADPRT00	拡張	3	SAR/Dサンブラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応				●	AP10000環境	5	522-110
		拡張	4	SAR/Dサンブラーデータ 'D IO,CPM' に対応				●	AP10000環境	6	522-111
MF-支援ライブラリー	JOBDSNCV	拡張	5	VSAMボリュームデータセットをサポート				●	SMSレコードタイプ62,64	7	522-119
MF-eASSIST	PNAVICEC	不具合	6	PRMFレコードに不要な'-1'が出力される						9	522-122
	PNAVISAD	拡張	7	SAR/Dサンブラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応				●	AP10000環境	10	522-123
	PNAVJOB1	拡張	8	ジョブ毎のアクセラレートプロセッサ(ACP)使用時間を追加						11	522-125

### ◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

# 【HOST】機能一覧 カテゴリ別

## 既存プロセッサ

### 拡張一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-ADVISOR	CPECNVRT	拡張	1	SAR/Dサンブラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応					AP10000環境	3	522-102
	CPESHELL	拡張	2	SAR/Dサンブラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応					AP10000環境	4	522-103
	SADPR00	拡張	3	SAR/Dサンブラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応				●	AP10000環境	5	522-110
		拡張	4	SAR/Dサンブラーデータ 'D IO,CPM' に対応				●	AP10000環境	6	522-111
MF-支援ライブラリー	JOBDSNCV	拡張	5	VSAMボリュームデータセットをサポート				●	SMSレコードタイプ62.64	7	522-119
MF-eASSIST	PNAVISAD	拡張	6	SAR/Dサンブラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応				●	AP10000環境	10	522-123
	PNAVJOB1	拡張	7	ジョブ毎のアクセラレートプロセッサ(ACP)使用時間を追加						11	522-125

### 不具合一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-eASSIST	PNAVICEC	不具合	1	PRMFレコードに不要な'-1'が出力される						9	522-122

### ◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

## CPECNVRT

### 522-102. SAR/D サンプラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	AP10000 環境

SAR/D の 'D CPU, TPROX' サンプラーデータに対応しました。入力データに 'D CPU, TPROX' がある場合、ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 13 でコンバートデータを作成します。コンバートの制御文に変更はありません。



# CPESHELL

## 522-103. SAR/D サンプラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	AP10000 環境

SAR/D の 'D CPU, TPROX' サンプラーデータに対応しました。CPECNVRT にてコンバートされた 'D CPU, TPROX' データ (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 13) を読み込んだ際、次のシンボルに値をセットします。

【物理プロセッサ情報】		
名前	説明	形式
ACPMODE	プロセッサ種別 0 : CPU (IP : 命令プロセッサ) 1 : ACP (アクセラレートプロセッサ)	数値
DURATM	TPROC 計測時間(秒数)	数値
LPARNUM	定義されている LPAR 数	数値
LPARSCH	この物理プロセッサのスケジュールモード	文字
LPARGRP	この物理プロセッサのグループ記号 常に空白となる。	文字
SUBSUBID	レコード識別番号(1 固定)	数値
TPROC	この物理プロセッサの番号	数値
TPROCBSY	この物理プロセッサの使用率(小数部無し)	数値
TPROCRSV	キャパシティリザーブモデルの物理 CPU 能力率(%) 常にゼロとなる。	数値
TPROCSEC	この物理プロセッサの動作時間(秒数)	数値

【論理プロセッサ情報】		
名前	説明	形式
ACPMODE	プロセッサ種別 0 : CPU (IP 命令プロセッサ) 1 : ACP (アクセラレートプロセッサ)	数値
DURATM	LPROC 計測時間(秒数)	数値
LPARNUM	定義されている LPAR 数	数値
LPARNUMB	この LPAR の識別番号	数値
LPROC	この論理プロセッサの番号	数値
LPROCBSY	この論理プロセッサの使用率(小数部無し)	数値
LPROCSEC	この論理プロセッサの動作時間(秒数)	数値
SUBSUBID	レコード識別番号(2 固定)	数値

# SADPRT00

## 522-110. SAR/D サンプラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	AP10000 環境

SAR/D の 'D CPU, TPROX' サンプラーデータに対応しました。CPECNVRT にてコンバートされた 'D CPU, TPROX' データ (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 13) が入力データに含まれている場合、次のレポートを作成するデータを選択できます。レポートレイアウトに変更はありません。

### <対象レポート>

- ・PRMF プロセッサ・レポート (SW072)
- ・PRMF プロセッサ使用率時系列プロット (SW073)

### 【追加スイッチ】

TPROCSW

- TPROCSW = 0 : 「D CPU, TPROC」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 14) と  
「D CPU, TPROX」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 13) の  
いずれか先に検出したデータを使用する (省略値)
- = 1 : 「D CPU, TPROX」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 13) を使用する
- = 2 : 「D CPU, TPROC」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 14) を使用する

### 【指定例】

「D CPU, TPROC」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 14) を使用する

TPROCSW = 2

### 【注意/制限事項】

- ・ 「D CPU, TPROC」と「D CPU, TPROX」のどちらかのデータしか収集していない場合、指定は不要です。

## 522-111. SAR/D サンプラーデータ 'D IO,CPM' に対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	AP10000 環境

AP10000 環境では 'D IO, ALL' サンプラーでチャンネルデータが収集されなくなりました。その為、チャンネル状況を確認するには 'D IO, CPM' サンプラーデータを使用する必要があります。CPECNVRT にてコンバートされた 'D IO, CPM' データ (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 18) が入力データに含まれている場合、次のレポートを作成するデータを選択できます。

### <対象レポート>

- ・チャンネル・サマリー・レポート (SW04)
- ・チャンネル・パス解析レポート (SW04)

### 【追加スイッチ】

IOCHPSW

- IOCHPSW = 0 : 「D IO, ALL」のチャンネルデータ (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 8) と「D IO, CPM」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 18) のいずれか先に検出したデータを使用する (省略値)
- = 1 : 「D IO, CPM」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 18) を使用する
- = 2 : 「D IO, ALL」のチャンネルデータ (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 8) を使用する

### 【指定例】

「D IO, CPM」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 18) を使用する

IOCHPSW = 1

### 【チャンネル・サマリー・レポート (SW04)】

(C) I I M CORP. 1987-2024		EXPERT SYSTEM / ONE ***** SYSTEM SUMMARY REPORT *****										SADPRT00 8						
PSW=SW04		--- INPUT/OUTPUT ( CHANNEL ) SUB-SYSTEM SUMMARY REPORT BY INTERVAL ---										VER=05 LVL=22						
HHMM	CHP	BUSY (%)	CHP	BUSY (%)	CHP	BUSY (%)	CHP	BUSY (%)	CHP	BUSY (%)	CHP	BUSY (%)	CHP	BUSY (%)	CHP	BUSY (%)	CHP	BUSY (%)
1415	45	2.00	20	2.00	10	1.00	44	1.00	21	1.00	8D	1.00						
1430																		
1445	10	1.00	44	1.00	45	1.00	20	1.00	21	1.00	8D	1.00						
1500																		
1515																		

### 【注意/制限事項】

- ・ 「D IO, ALL」と「D IO, CPM」のどちらかのデータしか収集していない場合、指定は不要です。

## JOBDSNCV

### 522-119. VSAM ポリリュームデータセットをサポート

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	SMS レコードタイプ 62, 64

VSAM ポリリュームデータセットのアクセス状況を CSV 出力できるようにしました。これによりアクセスしたジョブやユーザー名を追跡できるようにしました。加えて一部のレコードには総入出力回数も出力するようにしました。

#### 【追加スイッチ】

SW62 SW64
--------------

SW62 = 0 : VSAM コンポーネントの OPEN 情報を CSV 出力しない(省略値)  
 = 1 : VSAM コンポーネントの OPEN 情報を CSV 出力する

SW64 = 0 : VSAM コンポーネントの CLOSE 情報を CSV 出力しない(省略値)  
 = 1 : VSAM コンポーネントの CLOSE 情報を CSV 出力する

#### 【指定例】

VSAM コンポーネントの OPEN 情報のみ CSV 出力する

SW62 = 1 SW64 = 0
----------------------

**【CSV 出力項目表】**

レコード 62~64 の列と、項番 27~31 の行が追加。

		5, 35	14	15	17	18	62	64
1	SYSID	○						
2	JOBNAME	○	○	○	○	○	○	○
3	JOBNUM							
4	CLS	○						
5	RDERDATE	○	○	○	○	○	○	○
6	RDERTIME	○	○	○	○	○	○	○
7	INITDATE	○						
8	INITTIME	○						
9	TERMDATE	○						
10	TERMTIME	○						
11	INITWAIT	○						
12	ELAPSTM	○						
13	CC	○						
14	RACFGRP							
15	RACFUSER							
21	STATUS		READ	WRITE	SCRATCH	RENAME	OPEN /INVALID	CLOSE /SWITCH /NOSPACE
22	VOLSER		○	○	○	○	○	○
23	DEVADR		○	○				○
24	UNITTYPE		○	○				
25	DSN1		○	○	○	○	○	○
26	DSN2					○		
27	VVDS							
28	TYPE							
29	READRECS							○
30	WRITRECS							○
31	EXPCNT		○	○				○

## PNAVICEC

### 522-122. PRMF レコードに不要な'-1'が出力される

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

#### 【現象】

PRMF レコードの CPU\_SUM\_MAX フィールドに出力される値に不要な'-1'が付加されていました。なお、Performance Navigator では付加されていた'-1'は無視している為、グラフ作成や報告書作成への影響はありません。

#### 【対象レコード】

【PRMF】レコード名：PRMF

フィールド名	説明
CPU_SUM_MAX	CPU 使用率(区画の合計値最大) (%)

#### 【原因】

対象項目の出力処理に誤りがありました。

#### 【対処】

対象項目に不要な'-1'が付加されないように修正しました。

# PNAVISAD

## 522-123. SAR/D サンプラーデータ 'D CPU,TPROX' に対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	AP10000 環境

SAR/D の 'D CPU, TPROX' サンプラーデータに対応しました。CPECNVRT にてコンバートされた 'D CPU, TPROX' データ (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 13) が入力データに含まれている場合、次のレコードを作成するデータを選択できます。レコード形式に変更はありません。

<対象レコード>

・【PRMF】                      レコード名 : PRMF

【追加スイッチ】

TPROCSW

- TPROCSW = 0                      : 「D CPU, TPROC」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 14) と  
   「D CPU, TPROX」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 13) の  
   いずれか先に検出したデータを使用する (省略値)
- = 1                                 : 「D CPU, TPROX」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 13) を使用する
- = 2                                 : 「D CPU, TPROC」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 14) を使用する

【指定例】

「D CPU, TPROC」 (ES/1 共通レコード形式タイプ 197 サブタイプ 14) を使用する

TPROCSW = 2

【注意/制限事項】

- ・ 「D CPU, TPROC」と「D CPU, TPROX」のどちらかのデータしか収集していない場合、指定は不要です。

# PNAVJOB1

## 522-125. ジョブ毎のアクセラレートプロセッサ(ACP)使用時間を追加

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

ジョブとジョブグループ毎の、アクセラレート (ACP) 使用時間と使用率を追加しました。

### 【対象レコード】

【JOB 詳細状況】レコード名：JOB\_DTL\_

フィールド名	説明
ACP_TCBTIME	ACP (TCB) 使用時間 (秒)
ACP_SRBTIME	ACP (SRB) 使用時間 (秒)

【JOB グループ状況】レコード名：JOB\_GROUP

フィールド名	説明
ACP_TCBTIME	ACP (TCB) 使用時間 (秒)
ACP_SRBTIME	ACP (SRB) 使用時間 (秒)

【JOB グループ資源使用状況】レコード名：JOB\_GROUP\_CPU

フィールド名	説明
ACP_TCBTIME	合計 ACP (TCB) 使用時間 (秒)
ACP_SRBTIME	平均 ACP (SRB) 使用時間 (秒)



## 【PC】機能一覧 プログラム別

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	14	522-151
	不具合	2	Excelグラフが削除されない	15	522-152

## 【PC】機能一覧 カテゴリ別

### 拡張一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	14	522-151

### 不具合一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	不具合	1	Excelグラフが削除されない	15	522-152

# Performance Navigator(拡張)

## 522-151. Microsoft®365 Apps 環境への対応

Microsoft®365 Apps に対応しました。対象となる更新チャンネルは次の通りです。

<更新チャンネル>

チャンネル	バージョン	ビルド	サービス開始日	サービス終了日
半期エンタープライズチャンネル	2208	15601.20456	2023/1/10	2024/3/12
	2302	16130.20694	2023/7/11	2024/9/10
	2308	16731.20504	2024/1/9	2025/3/11

# Performance Navigator(不具合)

## 522-152. Excel グラフが削除されない

### 【現象】

報告書テンプレートの設定で HTML 形式の報告書のみが選択されている場合、Excel グラフファイル(.xlsx)と Word 報告書ファイル(.docx)は不要です。その為 HTML 形式の報告書と Gif イメージ形式グラフの作成が終了したらファイルを削除します。しかし次の条件を満たす場合、本来削除されるべき Excel グラフが削除されずに残り続けていました。

### <発生条件>

- ・ 抽出結果が 0 件などの理由で作成されなかったグラフがある
- ・ 「グラフ作成処理失敗時も処理を続行する」オプションが有効になっている

### <発生条件時の挙動例>

- ・ テンプレート登録済み 100 グラフのうち 50 グラフ目が作成に失敗している場合、1~49 のグラフファイルは削除されるが、51~100 のグラフファイルが残る

### 【原因】

プログラムのロジックミスです。

### 【対処】

グラフファイルの削除を最後まで実施するようにしました。グラフ作成失敗時に続行する設定となっている場合は、失敗したグラフのファイルがダミーで生成されますが、こちらも削除されます。